

# データで見る兵教生

## ～平成29年度大学概要から検証～ 地域別入学者数割合

### 学部、大学院ともに 半数以上が兵庫県出身者

平成29(2017)年度入学者は学部、大学院ともに近畿地区の出身者が最も多く、中でも兵庫県の出身者が半数以上の割合を占めている(兵庫県出身者数/学部121人、大学院144人)。特に、学部においては入学者数の約7割が兵庫県出身であり、地元での進学を目指して入学した学生が多いと思われる。一方、大学院においては、教育委員会からの派遣制度を利用した現職教員の学生も多く、北は北海道から南は沖縄まで、全国の学生が集まっていることが特徴である。

異なる地域出身の学生とふるさとについて語り合い、方言や習慣、食文化、独自の教育など、それぞれの地域性を学ぶ機会にはいかがだろうか。

関西独特の文化を  
楽しんでいます



東京都出身

さ さ き ゆう り  
佐々木悠里さん

学校教育学部  
社会系コース1年

近畿地方での進学を検討し、教員を目指そうと決意して兵教大を選びました。憧れの関西弁や日常に根付いた独特のお笑い文化に触れ、幸せな毎日を送っています。加東市は公共交通機関があまり発達していないので不便ですが、その分、車の運転技術が格段に上がります。これからも、平和で笑いにあふれる兵教大・加東市で充実した毎日を送れたらと思います。

## HYOKYO'S DATA

高速バス通学で  
地元の便利さを実感



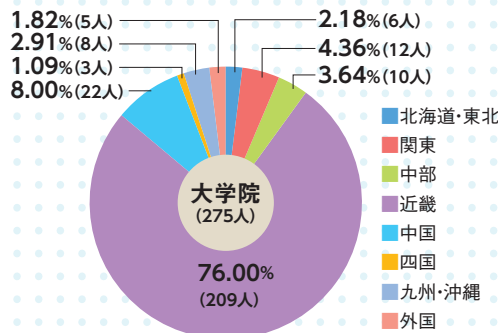
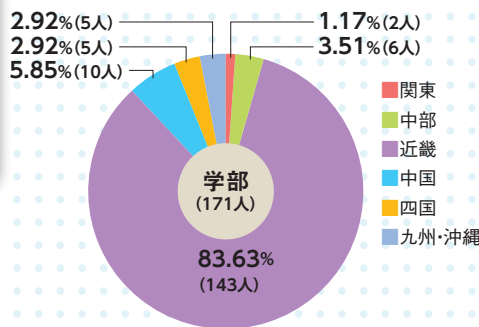
兵庫県尼崎市出身

おお がみのどか  
大上和さん

学校教育学部  
幼年教育系コース1年

高校の先生方に、教員を目指すなら絶対兵教大がいいと勧められ、受験しました。毎日高速バスで通っていますが、本数が少なかったり渋滞で帰宅時間が遅くなったりと、尼崎の便利さを改めて知ることができました。大学に通うには時間もお金もかかりますが、勉強だけでなくボランティアや旅行、アルバイトなどプライベートも充実した4年間にしたいです。

### 地域別入学者数割合



入学して感じたのは、良く言えば「学びを深めるのに適した環境」、悪く言えば「周辺に何も無い」でしょうか。お世辞にも都会とは言えない地元・米子市との共通点は、車が必需品ということ。近くに高速道路のICがあり神戸や大阪へ移動しやすいという利点を生かして関西にある数多くの大学を見学し、現場に戻ったときの教育活動に役立てたいと思います。

関西圏の  
大学を見て回り  
教育活動に  
生かしたいです



鳥取県出身(現職学生)

おお もりのり お  
大森教雄さん

専門職学位課程  
学校経営コース1年

高校の修学旅行で北海道に魅力を感じ、道内の大学へ進学。卒業後、特別支援教育をじっくり学ぶため兵教大の大学院へ入学しました。4年間函館に居たので寒さには慣れたつもりですが、加東市も寒いんですね。兵教大は現職の学生も多いため、現場の声を聞き、自身の学びを深め発展させることができます。多彩な体験や学びを自身の力にしていきたいです。

愛媛から  
北海道を経て  
兵教大で学びを  
深めています



おお にし さあや  
大西紗彩さん

修士課程  
障害科学コース1年

愛媛県出身